

事業番号	05 11 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会参加推進事業				部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課	
					実施期間	S23 ～	E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑥就業率								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興				
	3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり						

1 現状と課題

- ・障がい者の経済的自立を図るため、障がい者の一般就労への支援及び福祉就労における就労機会の創出・拡大が必要
- ・2028年の全国障害者スポーツ大会の本県開催やその先の障がいの有無にかかわらず活躍する社会に向けて、パラスポーツの普及や選手の発掘・育成、競技力強化、指導者の育成、県民の応援の機運醸成が必要
- ・障がい者芸術文化活動に取り組む事業所等への情報提供・相談支援体制の整備が必要

2 事業目的

就労によりやりがいや充実感を得たり、スポーツや芸術文化活動など様々な機会を通し、生きがいや楽しみを持つなど、障がいのある人が社会のあらゆる活動に主体的に参加し、その人らしく、充実した人生を送ることができる社会を実現する

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①工賃向上のための福祉就労の強化
- ・農福連携の推進等により就労継続支援事業所等の工賃アップの取組を支援
- ②「パラウェーブNAGANOプロジェクト」の推進
- ・障がいの有無や年齢を問わずスポーツを通じて交流できる全国最大規模の「ボッチャ競技大会」の開催
 - ・子どもたちがパラスポーツを題材にした授業で共生社会について楽しく学ぶ「パラ学」の推進
 - ・多くの方にパラスポーツに触れて、その魅力を体感する「パラウェーブ広場」の実施
- ③障がい者が芸術文化活動に参加する環境整備と作品等の発表機会の確保
- ・芸術文化活動に取り組む事業所等に対する相談支援・情報提供
 - ・各種研修会や出前ワークショップ等を通じた芸術文化活動を支援する人材の育成
 - ・展覧会等を通じた表現活動の発表機会の確保

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	就労継続支援B型事業所の月額平均工賃実績	円	15,070	16,153	↗	16,930	↗	18,500	未達成	障がい者の工賃向上を促進するため、就労継続支援B型事業所の月額平均工賃実績について、長野県障がい者工賃向上計画の目標値を成果指標に設定	
②	パラ学（県独自の体験型授業）の実施クラス数（R3～）	クラス	—	72	—	95	↗	105	未達成	共生社会実現に向けて、子どもたちが楽しみながら障がいについて学ぶ機会を提供するため「パラ学」（教育プロジェクト）を推進。中でも、県独自の体験型授業は、事前学習からパラスポーツ体験、障がい当事者講師からの講演等が一体となったプログラムであり、県内の多くの学校での利用を働きかけている。また、この一体型のプログラムはクラス単位での実施となるため、クラス数を成果指標に設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源		
R4年度	0	940,287	25,876	966,163	806,378	903,691	6.8
R3年度	0	929,088	32,805	961,893	807,099	854,807	6.8
R2年度	129,123	940,374	90	1,069,587	782,030	948,868	6.8

事業番号	05 11 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	社会参加推進事業		部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課

6 主な取組実績と成果

① 工賃向上のための福祉就労の強化

- ・就労継続支援事業所等の工賃アップを図るため、地域の企業・農業者等と事業者間の連携促進等の支援を行う地域連携促進コーディネーターを4名、農業就労チャレンジコーディネーターを2名配置した。（訪問・仲介件数：計631回）。
- ・経営手法や工賃アップの成功事例等を外部の方に依頼して講演してもらう工賃向上セミナーを2回開催し、事業所の管理者や担当者に工賃アップのノウハウ等の提供することで取組の支援を行った。
- ・工賃アップのため外部講師を招いて新たな技術の習得を図る8つの事業所に対して講習費用の一部補助を行った。

② 「パラウェーブNAGANOプロジェクト」の推進

- ・障がいの有無や年齢を問わずスポーツを通じて交流できる全国最大規模の「ポッチャ競技大会」を開催した。
- ・子どもたちがパラスポーツを題材にした授業で共生社会について楽しく学ぶ「パラ学」を95クラスで実施した。
- ・身近な場所でパラスポーツに親しむことができる環境を整備するため、ポッチャセットを76市町村に計211セット配布した。



③ 障がい者が芸術文化活動に参加する環境整備と作品等の発表機会の確保

- ・障がい者やその家族、事業所等に対し、芸術文化活動に関する相談支援を行った。（総相談件数34件、総相談回数111回）
- ・令和4年10月に開催した「キラ☆展」や令和4年12月に開催した「ザワメきっずプロジェクト」等の研修会や出前ワークショップ等を通じ、芸術文化活動を支援する人材の育成や、表現活動への支援を行った。
- ・令和5年1～2月に開催した「スキスギテストキ。ザワメキアート展2022」（延べ来場者数1,168人）を通じ、県民が障がい者の創作した芸術作品に触れる機会の創出を図った。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	就労継続支援B型事業所の月額平均工賃実績	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
工賃向上に向けた取組の実施や、全体平均よりも高い工賃額になる傾向のある農福連携の実施事業所の増加等により、前年度より工賃実績額は増加したが、生産活動を行う上で必要となる原材料の物価高騰の影響等もあり、目標値を下回った。							
指標②	パラ学（県独自の体験型授業）の実施クラス数（R3～）	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
学校現場での評価も高く、前年度より実績を増加することができたが、コロナウイルス感染症の影響で中止となった学校があった影響もあり、目標値を下回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・月額平均工賃実績は目標金額には至らなかったものの、比較的高い工賃が期待できる農福連携に取り組む事業所が増加し（R3：134→R4：151）、実績額は過去最高を更新した。
- ・3年間のコロナ禍により障がい者のスポーツの機会が失われ、参加する障がい者数も減少した。以前の水準に回復させるためには、総合型地域スポーツクラブなどの地域の活動を活性化させ、スポーツを支援する人材の育成や活躍の場を提供していく必要がある。
- ・芸術文化活動に取り組む障がい者を支援するため、事業所等への情報提供や、相談支援体制の整備、発表機会の拡充が必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・農業就労チャレンジコーディネーターを1名増員して3名体制とし、事業所と農家・農業法人とのマッチングを一層強化する。
- ・「パラウェーブNAGANOプロジェクト」を推進し、多くの方がパラスポーツに触れ、障がいのある人とない人の交流を図るとともに、信州やまなみ全障スポに向けた準備（指導者の育成、県民の応援機運の醸成等）を進めることで、障がい者が身近な地域でスポーツに取り組める環境の整備を目指す。
- ・「長野県障がい者芸術文化活動支援センター（ザワメキサポートセンター）」において、事業所等への情報提供・相談支援や各種研修会の開催を通じて、障がい者が芸術文化活動に参加しやすい環境を整備する。

事業名	社会参加推進事業	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課
-----	-----------------	----	-------	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	障がい者スポーツ振興事業		50,456 千円	72,051 千円	101,491 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	パラスポーツを通じた共生社会づくり	負担金	障がいの有無等にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しめる環境を整備するため、パラ学の推進やボッチャ競技大会等を開催 「パラ学」の実施数95クラス		
2	全国障害者スポーツ大会に向けた競技力向上	補助金	2028年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて選手の発掘・強化を推進 指定強化選手への支援 25人		
3	各種スポーツ大会の開催	負担金	長野車いすマラソン大会、木曽地区の障がい者スポーツ大会を開催（他地区・県の障がい者スポーツ大会は中止）し、障がい者のスポーツ参加の場を提供 各種大会における障がい者の参加者総数102人		
4	全国障害者スポーツ大会等派遣事業	委託	全国障害者スポーツ大会等へ県選手団を派遣 栃木大会に83人（役員含）の選手団を派遣		
5	障がい者スポーツ指導員の養成	委託	障がい者スポーツの普及を促進するため、専門的な知識や技能を身につけた指導員を養成 障がい者スポーツ指導員を30人養成		
6	県障がい者スポーツ協会業務支援事業	補助金	県障がい者スポーツ協会の運営費を補助し、障がい者スポーツの振興に向けた活動を支援 運営費（職員人件費・各種事業費）を補助		
7	パラスポーツ用具環境整備事業	直接	身近な場所でパラスポーツに親しむことができる環境を整備するため、スポーツ用具を購入し、市町村へ配布 ボッチャセットを76市町村に211セット配布		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	障がい者芸術文化活動普及支援事業		8,468 千円	9,894 千円	9,566 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県障がい者芸術文化活動支援センターの運営	委託	障がい者の芸術文化活動の振興を図るため、事業所等に対する相談支援、芸術文化活動を支援する人材の育成、関係者のネットワークづくり、発表機会の創出等を実施 研修の実施（5回）、展覧会の開催（2回）		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	地域生活支援事業	359,950 千円	357,844 千円	366,675 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	手話通訳者設置事業	直接	県庁及び保健福祉事務所に手話通訳者を配置し、県事業における手話通訳や県内の手話通訳者のコーディネート等を実施 各障がい福祉圏域に手話通訳事務員を配置：合計10人	
2	視覚障がい者総合支援事業	委託	視覚障がい者の社会活動への参加を支援するため、身体障がい者補助犬の給付、点字・声の広報等発行、生活訓練事業等を実施 図書や時刻表等の点訳・音訳実施、新聞等の即時点訳の実施、補助犬を1頭給付	
3	聴覚障がい者総合支援事業	委託	聴覚障がい者の社会活動への参加を支援するため、手話通訳者・要約筆記者の養成・派遣、字幕入りビデオライブラリーの作成等を実施 手話通訳者・要約筆記者の養成講座の実施（計63名受講）字幕入りビデオライブラリー作成（40本）	
4	盲ろう者支援事業	委託	重度盲ろう者に対するコミュニケーション及び移動等の支援を行う通訳・介助員を派遣及び通訳・介助員養成研修会を開催 盲ろう者通訳・介助員養成研修会の開催（受講者5名）	
5	情報保障・コミュニケーション支援研究会事業	直接	障がいのため、情報の取得や利用、または意思疎通に困難が生じている者に対する支援のあり方等を検討する研究会を運営する。 研究会の開催（1回）	
6	市町村地域生活支援事業補助金	補助金	市町村が実施する地域生活支援事業に対して補助 補助対象：77市町村	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	障がい者就労支援事業	118,238 千円	112,071 千円	111,954 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	福祉就労強化事業	委託	工賃アップの取組を支援するため、地域と障がい者就労施設の連携を深める地域連携促進コーディネーターを配置。民間の専門技能を有する人材を事業所に派遣。障がい者の農業就労を支援する農業就労チャレンジコーディネーターの配置等 地域連携コーディネーター4名、農業就労チャレンジコーディネーター2名配置	
2	福祉就労拡大モデル構築事業補助金	補助金	新たに農福連携等に取り組む事業所等に対して補助金を交付 補助先：3事業所	
3	福祉連携とOJTによる障がい者の就労促進事業	委託 補助金	障がい者の一般就労を促進するため、就職前の職場実習の推進と支援機関の連携のためのコーディネートの実施及び障がい者の短期職場実習に係る経費を助成 就労連携コーディネーター1名配置、職場実習参加者：延べ467人	
4	障がい者ITサポートセンター運営事業	委託	障がい者の日常生活の利便性向上とITを活用した就労の促進のため、IT関連サービスのサポート拠点を設置し、テレワーク普及促進のセミナー等を実施 テレワークセミナー1回、タブレット端末の利用講習会2回、訪問講習2回開催	
5	ステップアップオフィス事業	直接	知的・精神障がい者をチャレンジ雇用職員として雇用し、サポーターの個別支援により、職場定着と一般就労へのステップアップを支援 チャレンジ雇用職員21名、障がい者活躍サポーター13名雇用（更新職員を含む）	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	障がい者福祉センター運営事業		383,867 千円	275,023 千円	286,030 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	障がい者福祉センターの運営	指定管理	障がい者福祉センターの管理運営(スポーツ・文化活動)を実施 【指定管理者：(社福)長野県社会福祉事業団】 年間開館日287日		
2	障がい者のスポーツ振興	指定管理	体育館・プール・陸上競技場等の運動施設を活用しながら様々なスポーツ教室等を実施するとともに、4つのサンスポート(駒ヶ根、まつもと、佐久、ながの)を拠点に地域への出張教室等を実施 スポーツ大会8回開催、定期教室33回開催		
3	障がい者の文化芸術振興	指定管理	文化教室、文化芸能発表会や障がい者文化芸術祭の開催など、障がい者の文化芸術活動の体験・発表や文化芸術を通じた交流を目的として文化事業を実施 障がい者文化芸術祭1回、県内巡回による芸術作品展5回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	聴覚障がい者情報センター運営事業		27,889 千円	27,658 千円	27,658 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	聴覚障がい者情報センターの運営	指定管理	聴覚障がい者情報センターの管理運営(字幕付きDVD等の制作・貸出、福祉関係図書の貸出、生活相談及び情報発信)を実施 【指定管理者：(社福)長野県聴覚障害者協会】 字幕(手話)付きビデオ・DVDの製作27本、生活相談員の配置		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	その他社会参加推進事業		0 千円	266 千円	317 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	情報保障・コミュニケーション支援事業	直接	パソコンやスマホ等を使って内容をリアルタイムに文字化できる音声文字変換システム(UDトーク)を県庁受付及び障がい者支援課に導入することにより、障がい者等のコミュニケーションを支援 UDトーク配置箇所 2か所(県庁受付、障がい者支援課)		
2	障がい者ふれあい支援事業補助金	補助金	障がい者間の交流や社会参加の促進を図るため、外出や交流が少なくなりがちな障がい者にふれあいの場を提供する事業に対して補助金を交付 補助先：0団体(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)		